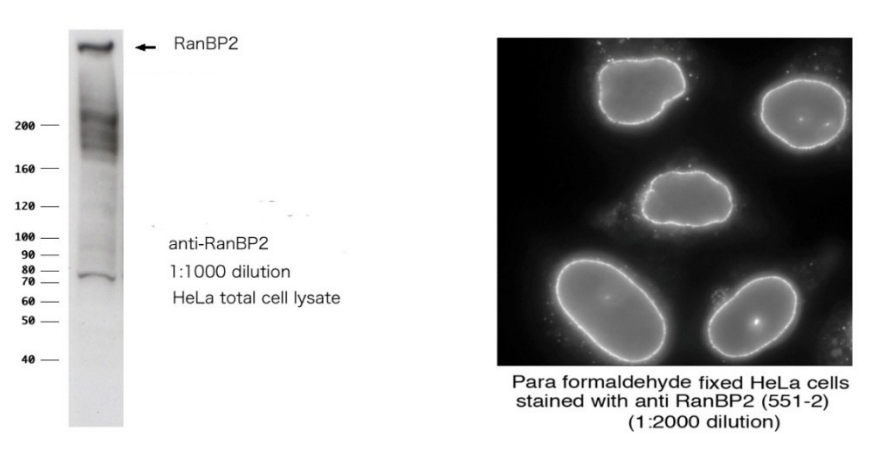


抗 RanBP2 (ヒト) 抗体, ウサギポリクローナル

商品コード	71-003
容量	100 µl
保存	-20 °C
濃度	0.5 mg/ml
バッファー	PBS- with 50% glycerol
純度	ウサギ抗血清から抗原ペプチドでアフィニティー精製した
抗原	RanBP2 タンパク質の保存された 3 回繰り返し配列 SKAPKSGFEGMFTKKE の合成ペプチド
アイソタイプ	ウサギ IgG
反応性	ヒト、マウス、ラット
アプリケーション	1. ウェスタンブロッティング(x 2,000 希釈) 2. 免疫沈降 3. 間接免疫法による細胞中の抗原染色
背景	RanBP2 はスモール GTP 結合タンパク質 Ran と相互作用するタンパク質として同定され、多数のタンパク質と巨大な複合体を細胞内で形成している。このタンパク質は 3,224 のアミノ酸を含みウェスタンブロッティングで 360 kD のタンパク質として同定される (下図、Ref.1) このタンパク質は mRNA のプロセッシング、タンパク質の核輸送、細胞分裂後の核膜の再構築、細胞周期の制御など多機能に参与する。
Data Link	UniProtKB P49792 (RBP2_HUMAN)
画像	 Western blot analysis of HeLa total cell lysate using anti-RanBP2 (1:1000 dilution). The blot shows a single band at approximately 360 kD, labeled as RanBP2. Molecular weight markers are indicated on the left (200, 160, 120, 100, 90, 80, 70, 60, 50, 40 kD). Immunofluorescence image of para-formaldehyde fixed HeLa cells stained with anti-RanBP2 (551-2) (1:2000 dilution). The cells show nuclear staining.
文献	本抗体は以下の文献に使用されている。 1. Yokoyama N <i>et al</i> "A giant nucleopore protein that binds Ran/TC4." <i>Nature</i> 376:184-188 (1995) PMID: 7603572 2. Melchior F <i>et al</i> "GTP hydrolysis by Ran occurs at the nuclear pore complex in an early step of protein import." <i>J Cell Biol</i> 131: 571-581 (1995) PMID: 7593180
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	